


令和7年度 地域貢献活動アンケート調査 〈結果報告〉



上京区マスコットキャラクター
かみぎゅうくん（社協ver.）

- 調査期間 : 令和7年9月26日～11月7日
 - 調査対象 : 上京区内の社会福祉施設・事業所
(高齢・障害・児童・その他)
 - 調査方法 : 郵送にて回答依頼し
FAXまたはGoogleフォームにて回収
 - 調査団体数 : 130
 - 有効回答数 : 69
 - 回答率 : 53.1%
 - 実施主体 : 上京区地域福祉推進委員会
上京区地域支え合い活動創出コーディネーター
- 

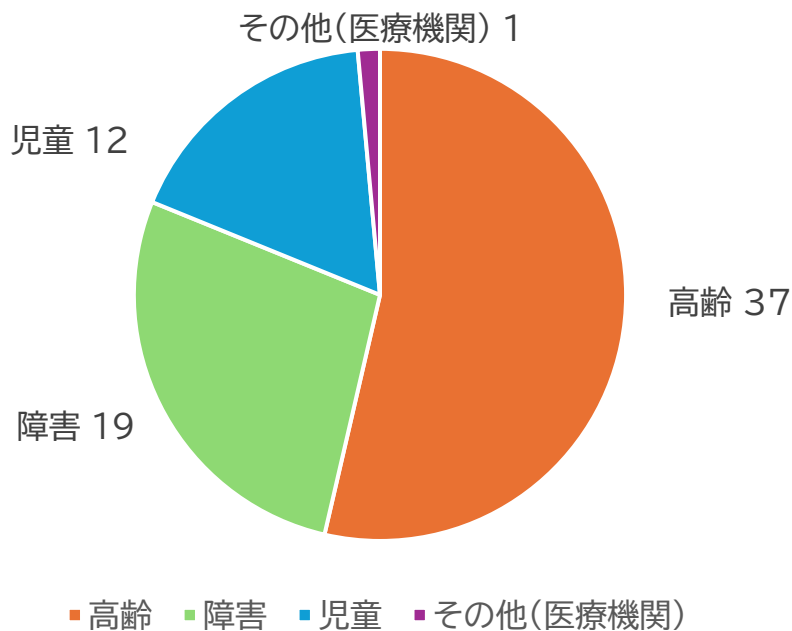
<調査目的>

上京区内の社会福祉施設・事業所における地域貢献活動の実態を把握し、今後の新たな活動創出や既存の取組の参考とするため。

<調査内容>

- ・施設、事業所種別（高齢・障害・児童・その他）
- ・地域貢献活動の実施の有無
- ・実施している場合は実施目的/活動内容/成果/課題
- ・今後取り組みたいこと/期待する支援について

施設・事業所種別 ※複数選択 (N=69)

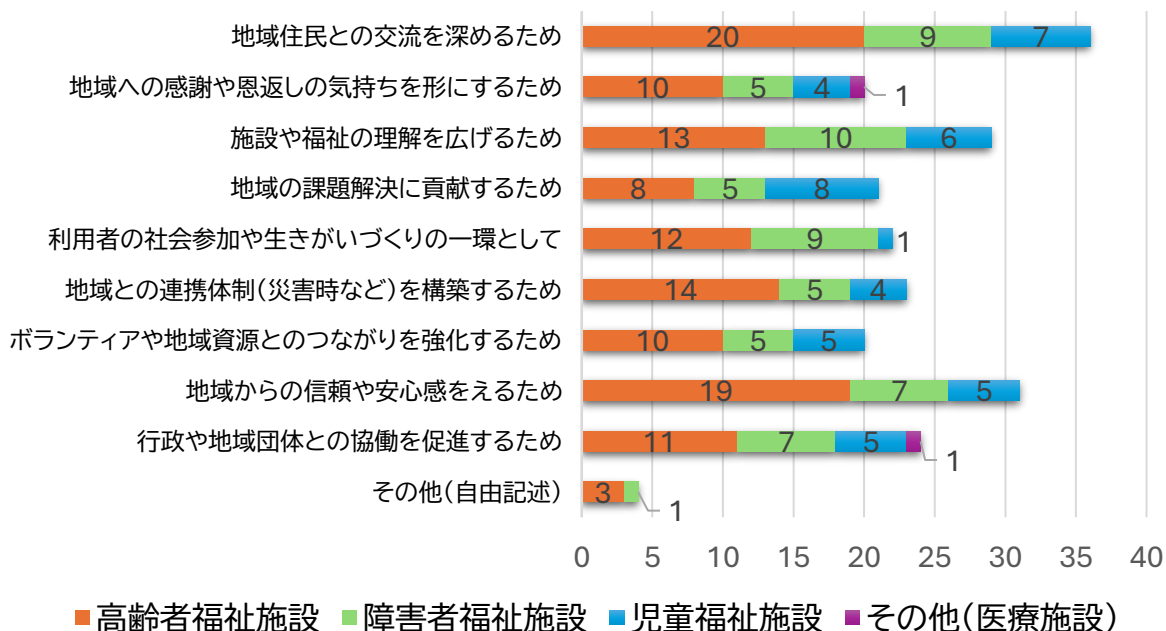


種別	回答数 (件)	割合 (%)
高齢者福祉施設	37	53.6
障害者福祉施設	19	27.5
児童福祉施設	12	17.4
その他 (医療機関)	1	1.4

○地域貢献活動の有無 (N=69)

内容	回答数 (件)	割合 (%)
実施している	47	69.7
実施していない	22	30.3

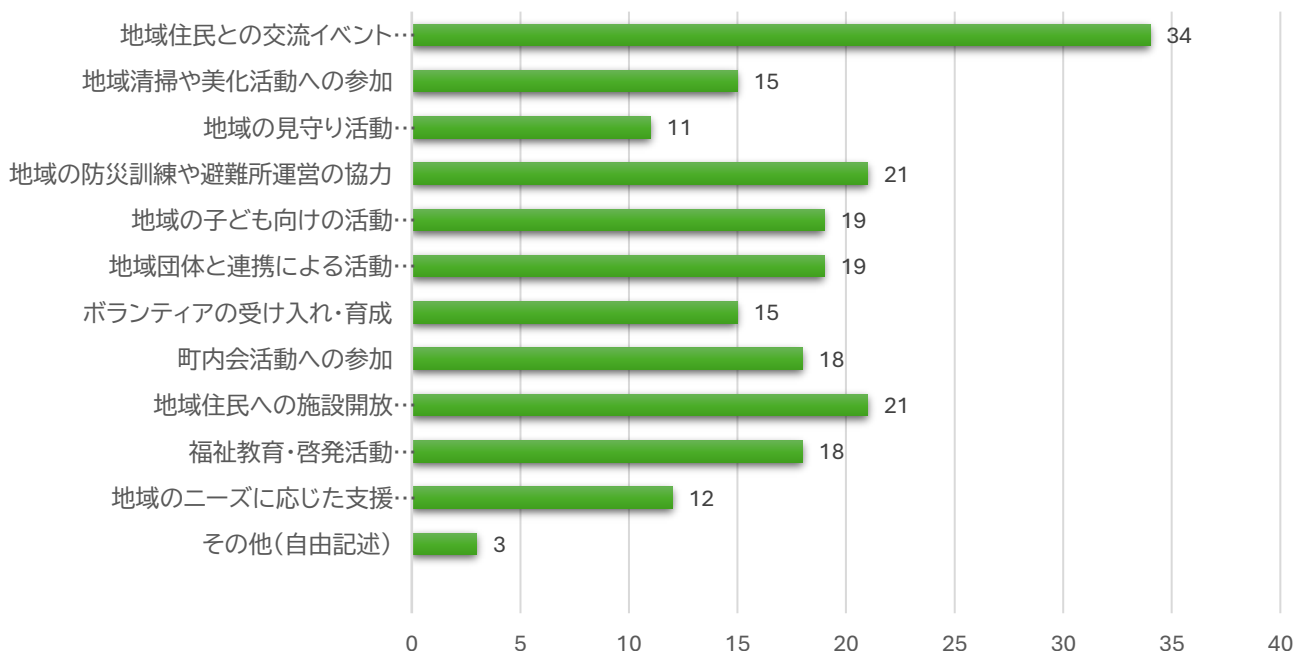
(1)実施目的 ※複数選択 (N=47)



結果からわかること

- ・多くの施設が「地域とのつながり」を主な目的としており、交流の機会づくりや信頼関係の構築に取り組んでいる。
- ・分野別にみると、障害者福祉施設では「施設や福祉の理解を広げる」目的が最も多く、地域への理解促進を重視している。

(2)実施内容 ※複数選択 (N=47)



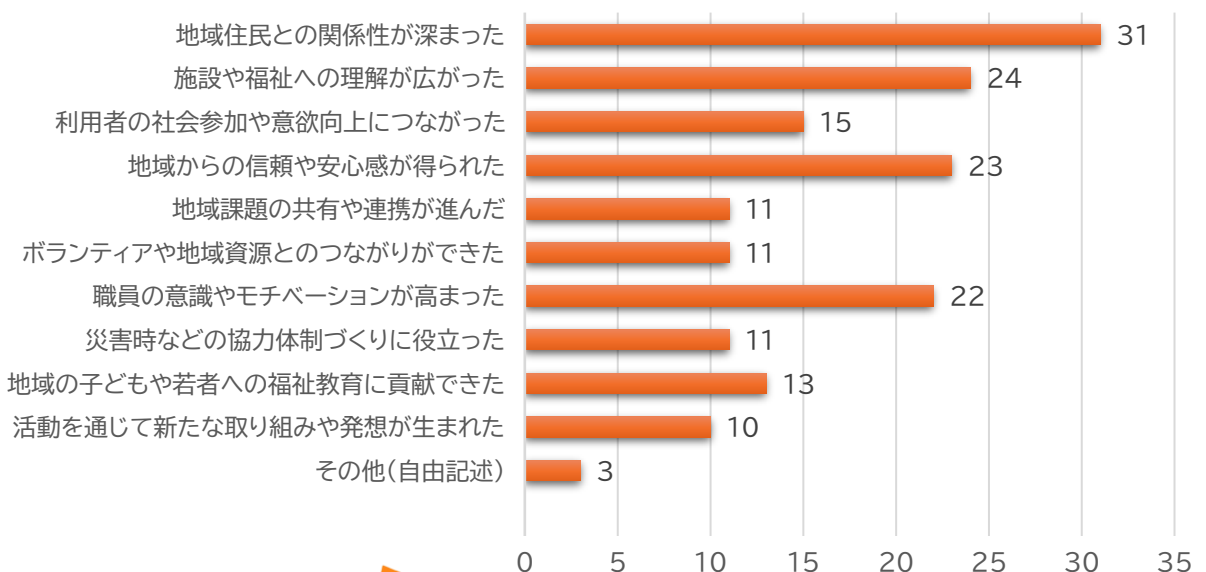
具体的な内容 ※アンケートより抜粋

- ・地域のお祭りに出店
- ・利用者とともに地域清掃活動
- ・防災訓練に参加
- ・消防分団に複数の職員が加入
- ・隔月でカフェを実施（衣類や食器、期限の迫った食品を無償で提供）
- ・区民運動会に参加
- ・地蔵盆の準備と片付けに参加
- ・会議スペースの貸し出し
- ・地域の方も参加できる利用者の作品展
- ・バザーやマルシェに参加

結果からわかること

- ・地域との日常的な接点づくりが、多様な取組を通じて進んでいる。
- ・施設を地域に開く取組が広がり、利用者の社会参加の促進にもつながっている。

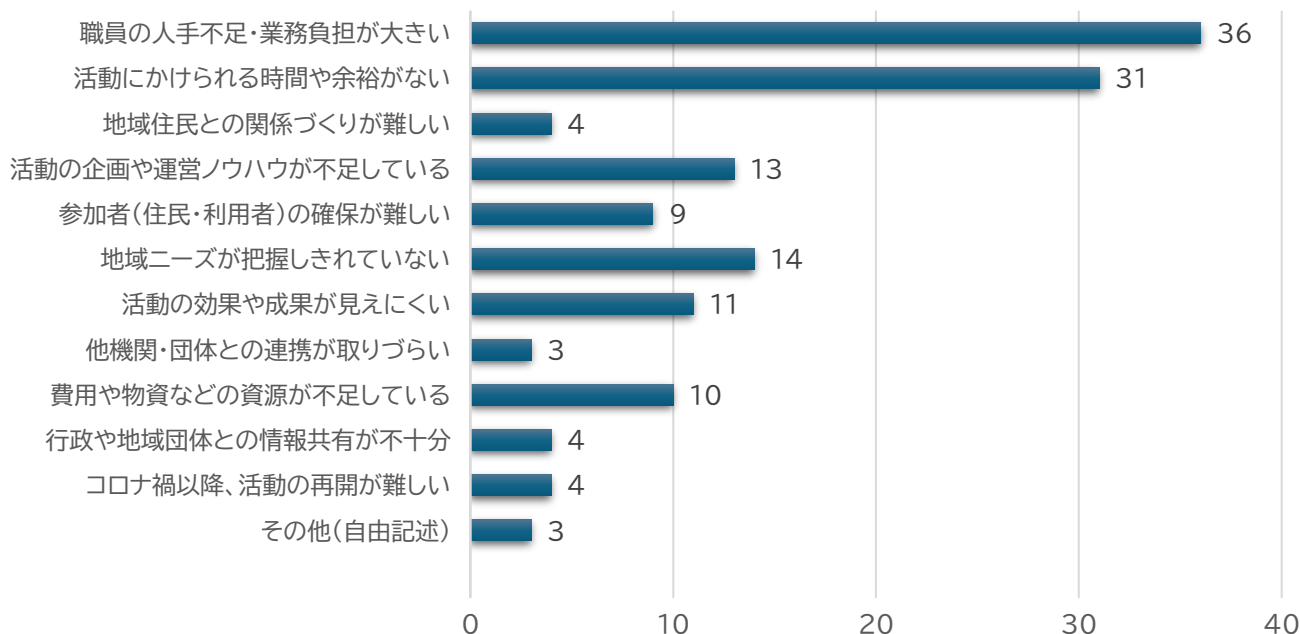
(3)実施における成果 ※複数選択（N=47）



結果からわかること

- ・活動を通じて、地域との関係性の質が最も向上しており、職員におけるポジティブな効果も確認できる。
- ・ネットワークの強化や、利用者の社会参加・福祉教育などにも一定の成果がみられる。

(4)実施における課題 ※複数選択 (N=47)



結果からわかること

- ・人手不足と時間的余裕の不足が最大の課題であり、活動に割けるリソースが不足していることが明らかである。
- ・企画運営のノウハウ不足や地域ニーズの把握の難しさが、活動をすすめるに難しくしている。

(5)今後、取り組みたいこと ※アンケートから抜粋

- ・防災訓練に継続して参加することで、施設の利用者にどんな配慮が必要なのか知ってもらいたい
- ・施設内のスペースの提供
- ・ふれあい喫茶
- ・気軽に足を運べる施設と思ってもらえるイベント
- ・シェアキッチン
- ・学習支援
- ・大学生とつながって、地域活動と一緒に参加 等

結果からわかること

- ・地域と協働しながら日常的に関われる取組を広げていきたい意向が強い。
- ・施設を地域に開く仕組みをさらに充実させたいニーズがある。

～令和7年度上京区「地域×施設 交流会」実施しました～

日 時▶12月9日(火) 14時～16時30分
会 場▶上京区総合庁舎4階大会議室
参加者数▶37名(地域:18名/施設:19名)



6つのグループに分かれて、地域と施設それぞれの取組について協議しました！

「こんな取組をしたい」等、参加者のみなさんから、どんどんアイデアが出ました！



参加者の声 ※交流会終了後に実施したアンケートより抜粋

- ・今後の地域活動について非常に参考になった
- ・地域、施設の取り組んでいる具体的事例をもっと知りたい
- ・日頃あまりつながりがなかった方々と話すことができて良かった
- ・今後も交流会を継続してほしい
- ・「上京区のニーズ」を肌で感じる事ができた
- ・防災の点からも、地域のつながりの重要性を改めて感じた
- ・地域、施設の共通の課題として、若手の担い手不足が挙げられた
- ・同じ規模の事業所や地域の方とつながることができた

情報交換にとどまらず、
つながる機会にもなったみたい！
今後もこういった場を続けていきたいね！



ここがポイント！！調査や交流会から見たこと



1. 地域貢献活動への関心が高まっている

- ・コロナ禍後、地域とのつながりを再構築したい意向が増加している。
- ・途絶えた交流を取り戻したいという声が多くみられた。

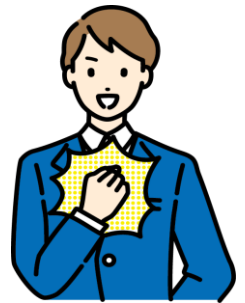
2. 災害時連携を見据えた「日頃からの関係構築」への意欲が高い

- ・平時から顔の見える関係づくりをすすめたいというニーズが強い。
- ・既につながっている施設もあり、今後取り組みたい施設も複数ある。

3. 地域貢献活動の実施にあたっての課題が明確

- ・企画や運営ノウハウ不足を抱える施設が多い。
- ・地域ニーズが把握しにくく、何を求められているのか分かりにくいという声が多い。
- ・活動の必要性を理解しつつも、実施に踏み出すハードルを感じている施設も多い。

地域支え合い活動創出
コーディネーターとして
今回の調査を通していただいた
“声”を実現できるよう、
応援していきたいと
思っています！



地域福祉推進委員会とは？

地域住民、関係機関・団体、行政等の協働を推進し、地域共生社会の実現を目指すために、京都市が各区に設置している委員会です。区域の実情に応じて多様な主体による協働の取組がより多くの地域で展開、創出できるよう取組をすすめています。

地域支え合い活動創出 コーディネーターとは？

京都市が地域で高齢者を支えていくために必要な生活支援サービスの創出や担い手の養成、ネットワークの構築等を目的として各区社会福祉協議会に配置しているコーディネーターです。

発行日：令和8年3月

発行：上京区地域福祉推進委員会
上京区地域支え合い活動創出コーディネーター

問合先：京都市上京区社会福祉協議会
住所：上京区今出川通室町西入堀出シ町285番地
上京区総合庁舎2階22番窓口

電話：075-432-9535 / FAX：075-432-9536



上京区社会福祉協議会では
さまざまな情報を発信しています！
あなたの探している情報が見つかるかも！



ホームページ



Instagram



Facebook

